

中北勢

mail@mainichi.co.jp

みんな夢中

命の大切さを訴えている医師の日野原重明さん(99)の授業をまとめたDVDを小学校などで紹介し、「いのちの授業」の普及活動に尽力している。「エフ・フィールド」代表、成田久美子さん(47)は桑名市陽たまりの丘下は先月、「食といのちの大切さ」などの講演をしている木村まさ子さんらを同市に招き、「新春トークセッション いのちを思い合う」を開き、約1300人の聴衆で満席にした。「会場と講師が一つになり、命について考える場になった」と喜んでいる。

【沢木繁夫】

日野原さんとの出会いは 06年、県PTA連合副会長の時だった。津市で開かれた講演会で、日野原さんの「いのちの授業」を「県内でもぜひ聞いてほしい」と依頼された。「これには応えなければ」と講演会後、桑名市の小学校での開催を申し出た。何度も東京に足を運び、実現したのは1年後の夏だった。

日野原さんは、参加した4年生約50人と保護者に「命とは何だと思う」と問う、児童に聴診器を渡し、互いに心音を聞いた。驚く児童たちに「命は見ることも感じることもできないけれど、一番大切なもの」と話し、最後に「自分だけでなく人の命も大切に。それを『許す心』を持つ勇気が必要」と訴えた。

日野原さんの思い全国へ



「いのちの授業」のDVDを紹介する成田さん(桑名市)

「いのちの授業」の普及活動 エフ・フィールド代表

成田久美子さん(47)

「ここだけで終わるのはもったいない」と、日野原さんに訴えると、これまでDVDを持って桑名市内の活動をまとめたDVDの小学校を回り、「いのちの授業」の完成が間近であることを知った。PTA活動で知り合った木村さんからは「一緒にやりなすにいいのちの大切さ」を伝えることができると、活動を全国へと広がって

った。生きている証しを聞く聴診器は100個以上も購入し、講師育成にも取り組み会の体制を整えてきた。09年度は、全国の小学校など36カ所で「いのちの授業」を開催、子供1816人、保護者1160人が参加してくれた。

「私たちと思いを共感できる人が全国に広がっている」と手応えを感じている。そして「命の尊さを伝える活動が会のシンボルマークのタンポポの綿毛のように風に乗って全国に飛び、そこで芽を出し、花開く」とを願っている。

メモ

エフ・フィールドの命名は、日野原さんの「家庭は畑。学校は肥料。良い肥料をまいても畑の土が弱ければ作物(子供)は弱ってしまう」の話から、ファミリーのエフと畑のフィールドから付けたという。出前授業の問い合わせは、成田代表(090・5875・1761)。

- 津支局
〒514-0006
津市広明町349の2
☎059(226)2211
FAX059(225)7081
- 伊勢支局
〒516-0037
伊勢市岩淵1の15の26
☎0596(24)1234
FAX0596(21)0174
- 四日市支局
〒510-0064
四日市市新正4の18の31
☎059(353)6451
FAX059(359)2065
- 名張支局
〒518-0621
名張市桔梗が丘1の6の84の1
☎0595(65)9161
FAX0595(65)9163
- 桑名通信部
☎0594(22)3350
FAX0594(24)1400
- 鈴鹿通信部
☎059(383)8311
FAX059(383)8288
- 松阪通信部
☎0598(28)5011
FAX0598(28)2310
- 鳥羽通信部
☎0599(25)2059
FAX0599(26)2058
- 尾鷲通信部
☎0597(22)7043
FAX0597(22)7043
- 伊賀駐在
☎0595(21)3251